

「松姫トンネル」が開く、大きな可能性

11月17日、国道139号松姫トンネルが開通しました。大月市と小菅村を結ぶ全長3066mのこのトンネルは、小菅村や周辺地域住民悲願の生活幹線道路。大月までの所要時間はこれまでの半分、約30分に短縮され、大雨、災害、積雪などによる通行止めも大幅に減ることが期待されます。

また、開通に合わせて民間の路線バスが大月市～小菅村間の運行を開始。村でも通学バスの運行を始めます。

さらに、市と村の間のアクセス改善によって中央道や国道20号の代替道路としての機能が高まり、東京都西部から小菅村経由で富士北麓などに至る新しい観光ルートの開発にも期待がかかります。

多摩源流をキーワードに、首都圏に近い立



松姫トンネル大月側入口と、山を縫うようにして松姫峠を越える旧道(赤い線)

他地域との交流が広がり
小菅がもっと元気になると
いいなと思います

自宅から通える高校が
増えてうれしい!
将来の夢も広がりました



都留高校1年 石原 翼さん

大月に下宿をしています
が、たまに帰ってくるとみんな
が声を掛けてくれます。そんな
温かさや、豊かな自然が村の
魅力です。トンネルの開通
により、他地域との交流が広
がり、小菅の良さをたくさん
の人に知ってもらえるといい
なと思います。

今は部活があるので下宿
を続けますが、3年生になっ
たら自宅から通うことも考え
ようと思います。



小菅中学校3年 奥秋晴奈さん

村の皆さんと一緒にバスで
トンネルを通ったのですが、あ
っという間で、不思議な感じ
がしました。トンネルの開通
で卒業後の選択肢が増えまし
た。下宿しなくても通える高
校がたくさんあるので、両親
や先生と相談しながらしっか
り考えたいと思います。

将来は外国に行って仕事
をしたいと思っています。トン
ネルが開通して、村も私も夢
と可能性が広がったと感じて
います。



開通記念式典には大勢の村民が出席。同村の小永田神代神楽(こながたじんだいかぐら)がお祝いムードに花を添えた



路線バス運行開始出発式では、運転手さんに小・中学生らが花束を贈呈(左)



小学生からお年寄りまでがバスに乗り込み、松姫トンネルを初走行。バイパス開通および大月市～小菅村間のバス路線開通を祝った

“空から見た
中部横断道”
ツール・ド・富士川
松姫バイパス開通



動画で見よう! 道路が開く山梨の未来

- ① スマートフォンまたはタブレットに「junaio」のARアプリをダウンロード(無料)
- ② アプリを起動
- ③ この写真にかざしてスキャンボタンを押すと動画が始まります。



中部横断道の開通で身延の町が活気づくよう魅力を発信していきます



身延町商工会青年部長 畑野 顕さん

中部横断道の開通を大きなチャンスと捉え、まずは身延を知ってもらうきっかけとなるよう、フェイスブックで久遠寺の御会式の様子などを発信したり、身延山・七面山トレイルラン「修行走」などのイベントも企画しています。

地域活性化のためには、この地域にどれだけ長い時間滞在してもらえるかが大切です。地域の人々で知恵を出し合って魅力あるまちづくりに取り組むとともに、より積極的な情報発信に努めたいと思います。子どもたちがこの町に生まれたことを誇りに思えるよう頑張っていきます！

身延山・七面山 トレイルラン「修行走」

古くからの身延巡拝の道そのままコースとし、聖地身延の靈気を感じながら走るトレイルラン。新たな身延山の魅力を創出して滞留型観光を推進しています。



「外から多くの人が訪れたいと思う魅力づくりが必要」との共通認識の下、開通のメリットを地域の活性化に最大限生かしていくために、交流・販路の拡大などを目指すさまざまなプロジェクトを立ち上げて、地域住民・関係団体・県などが一体となった取り組みを進めています。



建設中の中部横断道の下を通り抜ける



今中大介さん



開通効果を白り引き寄せる！ 中部横断自動車道沿線活性化の取り組み

南部区間の開通を間近に控える中部横断自動車道。観光・交流・物流面などで沿線地域への大きな効果が期待されています。

南アルプス・ネイチャー王国プロジェクト

南アルプスの自然がもたらす癒やしや安らぎを地域活性化に生かすため、登山道などの再整備、登山・自然ガイドの育成、新しいスポーツであるスラックラインなどを取り入れた森林体験プログラムによって地域の知名度を高め、南アルプスエリアのファンづくりを進めています。



スラックライン



南アルプスフロントトレイルの登山

富士川流域サイクルエリア創設プロジェクト

四季折々の富士川の景観や周辺の観光名所などを楽しんでもらえるサイクルツーリズムエリアを創設。モデルコースの設定やサイクルマップの作成など、サイクル環境を整えています。さらに、日本人として戦後初めてツール・ド・フランスに参戦した今中大介さん(甲府市在住)の協力を得て、平成25年から「ツール・ド・富士川」を開催するなど、交流人口の拡大による地域活性化に取り組んでいます。

こしべんと開発・普及プロジェクト

歴史と文化、自然に恵まれた峡南地域。その風土に育まれた特産の食材(大塚にんじん、甲斐あかねます、ベーコン、あけぼの大豆、たけのこなど)をふんだんに使用した弁当「こしべんと」を開発。地域に新たな食の魅力が加わりました。



【問い合わせ先】 道路整備課 TEL 055-223-1686 FAX 055-223-1693 企画課 TEL 055-223-1437 FAX 055-223-1320

山梨のみちづくり

検索

中部横断活性化

検索